

笑顔かがやく光っ子

みんなで育てる光っ子

学校便り

第428号
令和3年6月1日

練馬区立光が丘第八小学校
校長 世古 徳浩

「褒める」と「叱る」

校長 世古 徳浩

連休が終わり、じっくり子供たちと向き合い、各学年が学級づくりの土台を固めています。先生方には、来年の3月24日修了式、3月25日卒業式での「子供たちにこうなってほしい」という姿を思い浮かべ、それに近付けるために今何を指導したらよいのか、何を伝えればよいのかを考えながら教育活動を実践してほしいと伝えました。

さて、子供が良いことをしたら褒める。悪いことをしたら叱る。ごく当たり前に思えることですが、実際にはなかなか難しいです。それは我々大人が、褒めるべきタイミング、叱るべきタイミングを逸してしまったり、決めつけた目で子供を見てしまったりすることがあるからではないでしょうか。

良い子だから褒めるのではありません。良いことをしたから褒めるのです。悪い子だから叱るのではありません。悪いことをしたから叱るのです。褒められる回数が多い子は「良い子」。叱られる回数が多い子は「悪い子」。このように言われがちですが、100%「良い子」も、100%「悪い子」も、この世には存在しません。どの子も「良いこと」をすることもあれば「悪いこと」をすることもあるからです。

小学校時代は、物事の善悪を判断する力や人としてよりよく生きる力等を身に付ける時期であり、人間としての基礎を築くときです。私たち大人は子供に対し、褒めるべきときには褒め、叱らねばならぬときには、何度でも根気よく叱り、人が生きる上での正しい価値基準を示すことを忘れてはなりません。それを基に子供は他律から自律、そして自立への道を歩んでいきます。ひいては、それが子供の将来の幸せにつながるのだと思います。

時として私たち大人は、「甘さ」と「温かさ」を取り違えて接していることがあります。子供はアイスクリームが大好きですが、私たちは「甘くて冷たい」アイスクリームのようになってはいけません。甘やかすだけ甘やかし、最後は冷たく突き放すような接し方では、子供の心は育ちません。本当の意味で「優しい」大人とは、「温かくて厳しい」存在なのではないでしょうか。

その子の将来を真剣に考えたとき、心から厳しく叱ることができるのでしょうか。そして後になれば、褒めたときと同じように、その子を思う温かい気持ちが必ず伝わると私は信じています。「褒める」と「叱る」は表裏一体なのだと思います。

学校と家庭が両輪となり、パートナーシップで子供たちを育てていくことが大切です。これからも学校、各担任へのご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

6月の行事予定 ※今後の状況により予定が変更になることもあります。

年間生活目標『気持ちのよいあいさつをしよう』

日	曜日	予 定	光っ子ひろば	キッズルーム	日	曜日	予 定	光っ子ひろば	キッズルーム
6/1	火	安全指導③ 腎臓病2回目	○	★	19	土			
2	水		○		20	日			
3	木		○	★	21	月	全校朝会 プール開き 水泳指導始	○	★
4	金	歯磨き週間始	○	☆	22	火		○	★
5	土				23	水		○	
6	日				24	木		○	★
7	月	全校朝会 水道キャラバン1・2h(4)	○	★	25	金		○	☆
8	火	開校記念日			26	土			
9	水	避難訓練	○		27	日			
10	木	開校記念集会 歯磨き週間終	○	★	28	月	全校朝会 読書旬間	○	★
11	金		○	☆	29	火		○	★
12	土	土曜授業(公開なし)	○		30	水		○	
13	日				7/1	木	1年生5時間授業始 クラブ④	○	★
14	月	全校朝会 プール準備6h(5) 腎臓病3回目	○	★	2	金		○	☆
15	火		○	★	3	土			
16	水	特別時程 午前授業 下校12:50	○		4	日			
17	木	特別時程 午前授業 下校12:50	○	★	5	月	全校朝会 安全指導④ 保護者会(1・わ)	○	★
18	金	教育実習終 掃除なし	○	☆					

キッズルーム在室予定(☆:スクールカウンセラー ★:心のふれあい相談員 予定が変更になることもあります。)

※新型コロナウイルス感染予防(緊急事態宣言の延長)等により、行事やひろばの延期・中止を行う場合があります。

読売巨人軍 野球教室が行われました！

5月18日(火)の2・3時間目に野球教室が行われました。当日はあいにくの天気ですぐに体育館での開催でしたが、「打つ」というテーマのもと子どもたちは新鮮な気持ちで楽しみながら学ぶことができました。バットの持ち方から打ち方まで基本的なことを試合形式で教えてくださり、充実した時間になりました。授業後は「楽しかった」「もう一度やりたい！」などの声が聞こえ、野球というスポーツに触れる素晴らしい機会でした。

担当

